

令和4年9月13日
株式会社シーエス・ワンテン
ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社

ディズニージュニア 番組審議会議事録

- ・日時 令和4年7月
- ・開催方法 新型コロナウイルスの影響により書面にて開催
- ・参加者 審議委員総数 8名
参加委員数 8名

(参加委員名)

- 委員長 山田 顕喜 (日本大学芸術学部映画学科元教授)
- 副委員長 前田 耕作 (生涯教育新聞社代表)
- 委員 木下 美子 (元青山学院初等部英語教諭)
- 委員 土屋 礼子 (朝日新聞社 取締役)
- 委員 名越 康文 (精神科医・評論家)
- 委員 藤田 興彦 (公益法人児童育成協会参事)
- 委員 三枝 幹夫 ((株)オリコンME WEB編集本部 ORICON NEWS 編集部 編集長)
- 委員 阿部 京子 (ナレーター・キャスター・(有)タイムリーオフィス代表)

(衛星基幹放送事業者：株式会社シーエス・ワンテン)

- 福田 泉 (代表取締役社長)
- 谷 俊之 (編成局長)

(番組供給事業者：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社)

- 小林 信一 (代表取締役社長)
- 藤 慶英 (メディア戦略 シニアマネージャー)
- 竹内 文吾 (編成 マネージャー)
- 待鳥 雅之 (編成 アシスタント・マネージャー)
- 伊藤 由起 (編成、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社)

- ・議題 (1) ディズニージュニアの番組編成について
(2) 審議番組「かいけつ! チーム・チキン」について

・議事内容

(以下、*：委員からの意見・質問、→：ディズニーの説明・回答)

(1) ディズニージュニアの番組編成について

→7月18日(月)は、海の日に合わせて海の世界を舞台にした人気シリーズ「すすめ！オクトノーツ」を12時間連続放送。

→23日(土)は、人気シリーズ「しゅつどう！パジャマスク」の新展開を迎えるエピソードの初放送を含む、7時間の連続放送。

→31日(日)は、「バンピリーナとバンパイアカゾク」のシリーズ最終話を含む2時間半の連続放送。5話全てがチャンネル初放送。

*「しゅつどう！パジャマスク」は子どもたちに大人気のようなが、特に年中4歳児くらいから好まれるようで、主題歌が始まると皆一緒に歌っているくらいで、期待が大きい。

(2) 審議番組「かいけつ！チーム・チキン」について

・放送概要：

2021年11月28日(日)に日本初回放送。

約24分×全30話(シーズン1)

・番組内容：

チーム・チキンは動物たちを助けるチーム。優しい発明家のクープ、強くて賢いスウィーティ、足が速くて髪が命のリトル・ブーの3兄弟は、もっとみんなを助けられるようになるため、犬のタリー隊長の訓練を受けている。勇敢なチキンたちが現場へ急行すれば、チームワークでどんな問題だって解決！

→本作は、アメリカの児童書作家 Doreen Cronin の書籍からインスパイアされて制作されたアニメーションシリーズで、個性的なヒヨコの3兄弟が、それぞれの持ち味を生かし、チームワークでご近所のトラブルを解決するというストーリー内容。

→このシリーズには、「アバローのプリンセスエレナ」(ディズニー・チャンネル)や「ちいさなプリンセスソフィア」(ディズニージュニア)の制作スタッフが、エグゼクティブプロデューサーや脚本担当として携わっている。

*CGを使ったアニメーションは今までも見てきたが、動きが良くなりキャラクターのアクションの滑らかさが進化している。

*その一方で、キャラクターの表情や可愛さなどについては昔ながらの Disney らしさも増しているので、より親近感がある。

- *つまり、画的にはCGを駆使して技術的には飛躍的な進化を遂げているにもかかわらず、手描き全盛期のアニメーションを彷彿させるものがあるということ。
- *ストーリーについては、協力することや困っている人をみんなで助けることの大切さなどがしっかり伝わる。これはDisneyがずっと大切にしてきたこと。
- *キャラの中では長女のスウィーティが特に印象的。いわゆるステレオタイプ型ではなく、力持ちで優しくて、「マンダロリアン」に登場した女性戦士を想起させるものがある。
- *この3兄弟が、自分たちと同じチキンではなく犬のタリー隊長に師事しているのには、背景や意味があるはず。
- *チームワークの大切さを、自分たちの失敗から学んでいくところが良い。
- *タリー隊長が猟犬で、しかも女性であるというところに驚いた。これもジェンダーレスの一環なのだろう。
- *3人組が子犬を助ける中で、お互いの知恵を出し合う動き、条件がちがったときの話し合いなど、ひとつのものを完成させようとする努力など、児童と保護者が一緒に共通の話題として鑑賞するのにふさわしい。
- *挿入歌やダンスも、楽しくて心地よい。
- *3人組のキャラクターの特徴も、それぞれの個性が良く出ており、吹替声優の声にも全く違和感が無い。
- *挿入歌にもある通り、困っている人が居たら、力を合わせて困難に立ち向かい助ける。そのためのチームワークの大切さを教えてくれる。
- *アイデアをひとつずつ試していくステップを踏んでいくことも大切であると教えてくれている。
- *アニメーションは、子供が引き込まれるようなきれいな色彩で、チキンたち3兄弟もすごく愛らしいキャラクター。
- *チーム・チキンのキャラクターがとてもかわいい。彼らが助け合う姿が自然で感情移入もしやすい。
- *色見もビビッドで、落ち着いた犬の色彩との対比も良い。
- *途中の挿入歌もテンポよく口ずさみやすい。
- *「ちょうこうそくしゅつどう」では、子供にありがちな気がそれてしまう様子を具体的に出して、一つ一つ対処して完結させる大切さや集中する大切さを示していた。
- *また、「助けを呼ばれたら、すぐに反応してかけつける」ということも示唆していた。
- *タリー隊長の優しい見守り視線も印象的で、保護者にも勉強になる。
- *「子犬を助ける」編は、創意工夫してトライし失敗、そこからチームワークで力を合わせることにつなげたストーリーが良かった。
- *わかりやすい場面設定で、未就学児にはメッセージが伝わりやすいと感じた。
- *このシリーズは、子供たちに多くの大切なことを示している。
- *自分たちを身の危険にさらしてまで無理はしないこと、チャレンジすることや一緒に頑

張ることの大切さが伝わる。

- *色々試してみると同時に、一つのことを最後までやることも大切であることが学べる。
- *隊長がピンチになり皆に助けられる場面で、「よくできました、チーム・チキン」で終わるが、「ありがとう」という感謝の言葉があると良かった。
- *個々のアイデアだけでは解決しない難題も、3つのアイディアを重ねることで、その力は何倍にも跳ね上がる…日本にも古くから浸透する「三人寄れば文殊の知恵」という言葉があるが、“三人組の妙”は国や世代を問わず鉄板であることが再認識できる。
- *注目はタリー隊長の絶対的な信頼感。時に優しく、時に厳しく3人を正しく導く“グランドマスター”キャラは、近年減少傾向にあるだけに嬉しい。
- *様々なアイデアを出し合ってチームワークで問題を解決していくことの大切さが、親しみやすいストーリーでテンポよく描かれている。

・審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日：

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた令和4年7月以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で、活用し、さらなる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。

・審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日：

令和4年9月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上